

# 目次

## [概要](#)

[フォーマットされた不定様式社会保障番号を検出するためにカスタム DLP ポリシーを設定して下さい](#)

[カスタム ポリシーを作成して下さい](#)

[分類子を作成して下さい](#)

[重大度設定を行って下さい](#)

[重大度 スケールを設定して下さい](#)

[変更を入れ、保存して下さい](#)

[最後の段階](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料に検出するためにカスタム DLP ポリシーを設定する方法を Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のフォーマットされた不定様式社会保障番号 (SSN) 記述されています。

## フォーマットされた不定様式社会保障番号を検出するためにカスタム DLP ポリシーを設定して下さい

意図的に DLP スキャン エンジン 検出だけ社会保障番号をフォーマットしました。これはさまざまな企業が使用するデータに含まれている 9 デイジット数引き起こされる false positive の高レベルが原因です。たとえば不定様式社会保障番号のためにスキャンするとき、数をルーティングするバンク ABA は 9 デイジットで、引き起こします。組織によって厳しく必要とされてそのように不定様式社会保障番号のためにスキャンすることを避けることを推奨しません。組織は不定様式社会保障番号のためにスキャンすることが必要となれば、下記のソリューションで提供されるステップに従うことによってカスタム DLP ポリシーを作成できます。

AsyncOS は RSA が組織によって発達する分類子を使用してあなた自身のポリシーを全く最初から作成するオプションを提供します。このオプションはあらかじめ定義されたポリシー テンプレートがネットワーク環境の固有の要求を満たさないとき高度と検討され、稀なケースでだけ使用する必要があります。

## カスタム ポリシーを作成して下さい

1. GUI を使用する場合：メール ポリシー > DLP Policy Manager。
2. 追加 DLP ポリシー... ボタンをクリックして下さい。
3. ポリシーをスクリーンの一番下で『Custom』を選択し、カスタム ポリシーの隣で『Add』をクリックして下さい。
4. DLP ポリシー名を入力して下さい。次に、例を示します。SSN カスタム ポリシー。

## 分類子を作成して下さい

カスタム分類子を作成することは DLP エンジンのスキャンされた基準上の大きなフレキシビリティを与えます。長所にフォーマットされていた SSN および不定様式 SSN 両方のためにスキャンするのにこれを使用します。

1. ドロップダウン コンテンツ一致する分類子から分類子を『Create』を選択し、Add ボタンをクリックして下さい。
2. コンテンツ一致する分類子名前を入力して下さい。次に、例を示します。SSN すべての形式。
3. ルール セクションの下で、ワードまたは句からエンティティにドロップするを設定して下さい。
4. エンティティを選択して下さい: フォーマットされている米国社会保障番号。
5. 『Add rule』をクリックして下さい。
6. 再度エンティティを選択して下さい。
7. エンティティを選択して下さい: 不定様式米国社会保障番号。
8. [Submit] をクリックします。

## 重大度設定を行って下さい

次の設定はただ助けるガイドラインで、組織必要に基づいていくつかの口径測定または代替コンフィギュレーション設定を必要とするかもしれないどんなに、よい開始点です。

- **重要な重大度設定**

メッセージに適用される処理: 検疫

イネーブル 暗号化 ( チェックされる )

暗号化のルール: メッセージの暗号化を常に使用して下さい

暗号化 プロファイル ( ドロップダウンから設定された暗号化 プロファイルを選択して下さい )

暗号化されたメッセージ サブジェクト: \$subject

- **高い重大度設定**

メッセージに適用される処理: 渡して下さい

暗号化を有効にして下さい ( チェックされる )

暗号化のルール: メッセージの暗号化を常に使用して下さい

暗号化 プロファイル ( ドロップダウンから設定された暗号化 プロファイルを選択して下さい )

暗号化されたメッセージ サブジェクト: \$subject

- **中間重大度設定**

メッセージに適用される処理: 渡して下さい

暗号化を有効にして下さい ( チェックされる )

暗号化のルール: TLS が失敗した場合その時だけメッセージの暗号化を使用して下さい

暗号化 プロファイル ( ドロップダウンから設定された暗号化 プロファイルを選択して下さい )

暗号化されたメッセージ サブジェクト: \$subject

- **低い重大度設定**

メッセージに適用される処理: 渡して下さい

暗号化を有効にして下さい ( チェックを外される )

## 重大度 スケールを設定して下さい

再度、次の設定はただ助けるガイドラインで、組織必要に基づいていくつかの口径測定または代替コンフィギュレーション設定を必要とするかもしれないどんなに、よい開始点です。

1. 重大度 スケール ダイアグラムの右へ、スケールを『Edit』 をクリックして下さい。
2. 無視までの最初のハンドルを = 0 滑らせます。
3. 第 2 ハンドルをまでの LOW = 1 から 9.滑らせます。
4. メディアまでの第 3 ハンドルを = 10 から 50 滑らせます。
5. 最高までの第 4 ハンドルを = 60 から 89 滑らせます。
6. これを正しく設定 する場合、自動的に 90 から 100 設定 されます重要。
7. 終了したら『Done』 をクリックして下さい。

## 変更を入れ、保存して下さい

このポリシーの作成を確定するために、**SUBMIT** ボタンをクリックして下さい。 GUI の右上隅の託変更ボタンをクリックして下さい。 コミットされていない変更画面に、クリックします**保存**します変更を連れて行かれます。 成功すれば**保留中**の GUI の右上隅の**変更**を見るはずです。

## 最後の段階

今メール Policies->Outgoing メール ポリシーの下で発信 メール ポリシーの DLP ポリシーを有効にする必要があります。 あなた自身でカスタム発信 ポリシーを作成できる本番の外のテストのために送信側として指定し、このテスト ポリシーの DLP ポリシーを有効にします。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)